



第2609号
週報
3月12日.2025

高知東ロータリークラブ

本日 3月12日(水) 12:30 ザクラウンパレス新阪急高知
ゲストスピーチ
「日本と知識を征服するという私の夢」
米山記念奨学生 グエン ゴック ホン さん

次週 3月19日(水)

休 会

第2655回 例会報告 / 令和7年2月26日 天候 晴

◇ロータリーソング

「冬の星座」

◇お客様

水曜日 西森美和 氏



◇会長挨拶



皆さん、こんにちは。
先週の火曜日には、三翠園において8RC合同夜間例会があり、当クラブからは30名が参加していただきお疲れさまでした。

また、今日は10時から高知市役所庁舎にて、西村美香財団委員長の企画によるシェルターテントの寄贈式を済ませてきたところです。市側からは、桑名市長はじめ、神谷副市長、



山崎防災対策部長、松岡防災対策副部長が参加して滞りなく行われました。

シェルターテントとは地震や豪雨などの災害により避難場所での集団生活を余儀なくされる際に、避難所における女性が少しでも安心して過ごせるよう、更衣室や授乳室として利用でき、プライバシー空間を確保するためのもので、今日は10基を高知市に寄贈させていただきました。予想に反して、多くの報道陣が来て、カメラが5基も6基も並び、質問を多く受けて応答に苦勞して、この1年間で最も疲れた時間でした。

本日は高知市福祉管理課の西村浩代さんに「女性の視点からの防災」について、卓話をお願いします。西村さん、よろしくお願いいたします。

◇会長報告

• 本日のシェルターテントの寄贈に対して、感謝状をいただきました。



◇幹事報告



• 3月に開催する情報集会のグループ分けをお配りしましたので、確認をお願いします。変更等があれば、幹事まで。

• 本日例会終了後、役員会を行います。

「女性の視点からの防災」



私は1981年に学園短大食物栄養科を卒業後、研究室に5年間勤務。1986年、高知市役所に栄養士として勤務、その後、市民病院の医事課栄養係、母子保健課、保健センター、保健所で健康づくり課、生活食品課、教育委員会学事課で主に給食、食事関係の仕事をしてきました。2011年4月、教育委員会学事課課長となり、2013年高知市女性の視点による南海地震対策検討委員会の委員長。2017年、防災対策部防災政策課の参事として着任、ここから、本格的に防災の仕事が始まります。

女性で初めて防災部門に行きましたので、東京で会があったときなどは、会場を間違っているんじゃないかみたいなか目で見られたりしました。それまでの防災は土木防災といわれるように、災害が起きて橋や道が壊れたら、どうやって復旧するか。住宅はどうするかといったようなことが中心でしたから、そこに女性の視点が入るといっても前例がないわけです。

定年前の2020年、高知市の災害時栄養食生活支援活動マニュアル、災害が起きたとき、どうやって被災者の方々の栄養、食生活を守っていくかというマニュアルを策定しました。2021年3月、定年退職、4月から再任用職員になっています。2021年9月から2022年6月は新型コロナウイルス感染症自宅療養者物資班に着任。生物以外で、1週間分の食料をどうやってセットをしていくかと考えたとき、2020年に策定した災害時栄養食生活支援活動マニュアルがとても役立ちました。ただ、物がなくてもスーパーやドラッグストアに行けば買えると思っていたのですが、そういう商店は倉庫を持っていないため、商品が揃うのは注文を受けてから2週間かかると言われ、最初の1、2週間は職員総出で、あちこちのスーパーを回って材料を集めたのが懐かしい思

い出です。

災害が起きたら流通備蓄を使いますとよく言いますが、そこには物はないんです。高知大の災害時の対応の先生とか近森病院の災害対応の先生とお話すると、最低1カ月は人も物も高知には来ないだろうと言われて、そうだなと。このことを皆さんに伝えなければいけないと思って、いろんなところでお話をしています。皆さんも1カ月分、家族が生き延びていくために、何を準備するかをぜひ考えていただきたいと思います。

1995年1月、阪神・淡路大震災が発生。避難生活における困難から男女共同参画の視点が必要だと言われ始めます。2004年10月、新潟県の中越地震が発生。2005年、2008年の国の災害対策基本法に基づく防災基本計画の中に、男女共同参画の視点が初めて盛り込まれ、2005年、2010年の第2次、第3次男女共同参画基本計画の策定の中で、防災（復興）の分野に男女共同参画の視点が盛り込まれます。しかし、2011年3月の東日本大震災が発生して実効性が担保できていないことが判明。同年6月、東日本大震災復興基本法の公布・施行を受けて、2012年度、高知女性の視点による南海地震対策検討委員会が設置されました。

女性の視点が必要、これの私が思う究極のことは、災害後、行政が被災者の男性にがれき撤去の仕事を発注すると日当が出る。すると、家族はそれを原資に生活が復興していく。一方、避難所で何百人もの食事づくりを、町内会の女性たちが頼まれて作る。でも、その人たちには日当は出ない。両親と子どもがいる家庭は、男性ががれき撤去でお金を稼げる。でも、母親だけで子どもを育てている家庭は、食事づくりに行ってもお金は入ってこない。大規模災害のときに、特に女性が困難を抱えるといわれるのは、こういうところだと思

ます。

検討委員会で報告書を作りました。事前の備え編、避難所編と分けて、女性の相談は女性が聞く、話し合いには女性も参画、炊き出しは男女とも等々。報告書作成は14年ほど前ですので、今見ると、何かおかしいなというところもあります。それは、皆さんの防災意識が上がったからです。

2011年東日本大震災が発生のとき「想定外」という言葉が出ました。私たち14人ほどで東日本へ調査に行き、100人ぐらいの、主に女性の被災者にお話を聞きました。年齢の高い方がおっしゃいました。避難所から40分、そこは日常でイオンで下着も何もかも売っている。だけど、私たちはお金もない、移動手段もない、だから着回しするしかない。一人暮らしのおじいちゃん、おばあちゃんの洗濯は、仙台からの洗濯ボランティアの人たちがしてくれる。

食べるものがないのは、備蓄量の少なさ。住むところがないのは、平地が全滅し、高台の造成、平地の再生に時間がかかる。食事の確保、トイレの確保、雑魚寝に感染症、洗濯物干し場、更衣室・授乳室が必要、地域外からの人々の流入、支援者ももちろんですが、招かざる客が大勢来たそうです。

2012年6月、改正災害対策基本法により、発災後4日から7日は、国からのプッシュ支援で対応することになり、これが最初に始動したのが、2016年に起きた熊本地震です。ただ、このときはまだシステムができていなかったことから、国から送られてきた物資が熊本県庁の中いっぱい、飽和状態になったということで、2020年、物資調達・輸送調整等支援システムが運用が開始になりました。そのため、高知県もシステム上はできるようになっていますが、物資拠点はあって市役所の職員も張り付きますが、日頃やっていないオペレーションを誰ができるのかというところが、本当は大きな課題です。ここで、ダンボールベッド、パーテーション、熱中症対策

冷房機器、感染症対策マスク、消毒液などが出てきます。

2024年、去年のお正月に能登半島地震が発生。皆さんは、自分の防災対策、防災知識と併せて、どのように映像を見られたでしょうか。土砂災害、火災、液状化現象、家屋の倒壊、交通網寸断とものすごい被害が起きていますが、避難所では何が変わったのか。食事の確保には浄水器、ボランティアの炊き出し、キッチンカー。トイレの確保にはトイレカー。感染症対策としては間仕切り、簡易ベッド、簡易トイレ、洗濯物干場・更衣室・授乳室には専用スペースが避難所運営マニュアルに組み込まれました。その他、洗濯ボランティアはランドリーカーに、お風呂ボランティアは組み立てシャワーにと変わりました。

昨年6月、防災基本計画が修正され、避難所運営において、トイレカー等により快適なトイレの設置への配慮という言葉が入りました。コロナ感染症以来、車避難や車中泊は「有り」になりました。キャンプ場のトレーラーハウスも災害時仮設住宅になります。

そして、高知県でも2024年4月17日、宿毛で震度6弱、8月8日に日向灘を震源とする地震で国内発の南海トラフ地震臨時情報が発表されました。ここで話したいのは、防災関連商品のアップデートは早いけど、人が携わる災害対応のアップデートは遅いということです。市役所の職員も、3年、4年で代わります。積み上げてはいきませんが、新しく来た人は一からの勉強になりますので、やはりみんなでやっていかないとだめなんです。

来年度、南海地震で想定される被害の見直しをしますので、今までの数字が下がるはずです。そうすると、また対策が少し変わってくると思います。地震だけではなく、雨も降ります。災害に対して、行政・民間・住民が一緒になって真剣に取り組むべき時期にきています。自分の命を守る備えを、引き続き、よろしく願いいたします。



・佐野博三 本日、市役所で桑名市長立ち会

いの、女性プライバシーと感染症の防止のためのシェルターテントの寄贈式があり、出席いたしました。本日の卓話、西村浩代さん、ありがとうございました。

- ・西森良文 本日の贈呈式お疲れ様でした。本日の卓話、貴重なお話ありがとうございました。
- ・市川哲司 西村さん、財団の寄贈式お疲れ様でした。ほんとうに良かったですよ。
- ・森田倫光 3月2日に性懲りもなく仕立て会をします。ぜひ、お立ち寄りください。
- ・岡崎・山下・武吉 みかさん、午前中はシェルターテントの寄贈お疲れ様でした！大変素晴らしい事業でした。
- ・西森やよい 西村浩代様、素晴らしい卓話ありがとうございました。防災分野に女性が少ないことは、卓話でも触れられていましたが、消防、警察、防衛部門ではなく、栄養士出身というのも稀有な存在だと思っております。生活者の視点や行政の枠を飛び越えた市民の目線、ずっと以前から尊敬しておりました。これからもご活躍ください。高知ユナイテッドの試合に行ってきました。次はきっと勝ると信じています。
- ・前川美智子 西村浩代様、本日は大切な貴重なお話を分かりやすく、楽しくお話をしてくださり、ありがとうございました。美香ちゃん委員長もお疲れ様でした。佐野会長のイ

- ンタビューも楽しみに拝見します。
 - ・寺尾正生 長く欠席が続いておりましたので、たくさんのプレゼントありがとうございました。来月よりは例会にも復活します。
 - ・西村美香 西村さん、今日は卓話ありがとうございました。企業や地域でリーダーシップをとられるメンバーの皆さまに、万が一の災害のときには、今日の卓話を参考に避難所等の運営にご協力いただきたいと思います。シェルターテントの寄贈式が無事終わってホッとしています。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。第2弾の防災セミナーも頑張ります。
 - ・土居祐三 ちょっといいことがあったんでニコニコします。
 - ・福岡満喜子 財団委員会の避難所シェルターの贈呈式お疲れ様でした。西村さん、ありがとうございました。
 - ・石川 健 黒潮CC Grant シニアコンペで55人中、優勝しました。44の44、88点、上等でした。
 - ・ザ クラウンパレス新阪急高知 いつもサロンイーストのご利用ありがとうございました。
- ◇遅刻 1件

■高知東RC当面の日程

- ・情報集会
3月11日(火)~13日(木) 18:30~ (得月樓)
- 3月19日(水) 休会
- 3月26日(水) 役員会

- 4月2日(水) 定例理事会
- 4月16日(水) 第5回 (次年度第1回) クラブ協議会 (得月樓)
- 4月23日(水) 役員会
- 4月30日(水) ロータリー休日

● ニコニコ箱 ●

	ニコニコ (チビニコ含む)
先週まで	798,855円
2月26日	32,620円
今期の累計	831,475円

● 出席率報告 ●

	総数	出席	欠席	メイクアップ	HC出席率	出席率
2月26日	⁻⁶ 54	37	6	5	68.52%	87.50%
2月12日	⁻⁵ 54	42	0	7	77.78%	100%

- 会長／佐野博三 ●幹事／中越貴宣 ●雑誌会報委員／西山正純・増田伝郎・有田憲一
- 例会日／毎週水曜日12:30PM~1:30PM ●例会場／ザ クラウンパレス新阪急高知 (088)873-1111
- 事務所／高知放送南館8階 〒780-0870 高知市本町3-3-39 直通 (088)824-8660
- ホームページアドレス(PC・携帯共通) <http://www.kochi-east-rc.com>
- メールアドレス 事務局/hcrrc@coffee.ocn.ne.jp 広報IT委員会/info@kochi-east-rc.com